

岩手県立産業技術短期大学校 水沢キャンパス

《 生産技術科・電気技術科・建築設備科 》

自己推薦入試を始めます

高等学校
卒業生対象

企業は
技術者を
求めています

初めてでも
基礎から
学べます



例えば、こんな方にお勧めです。

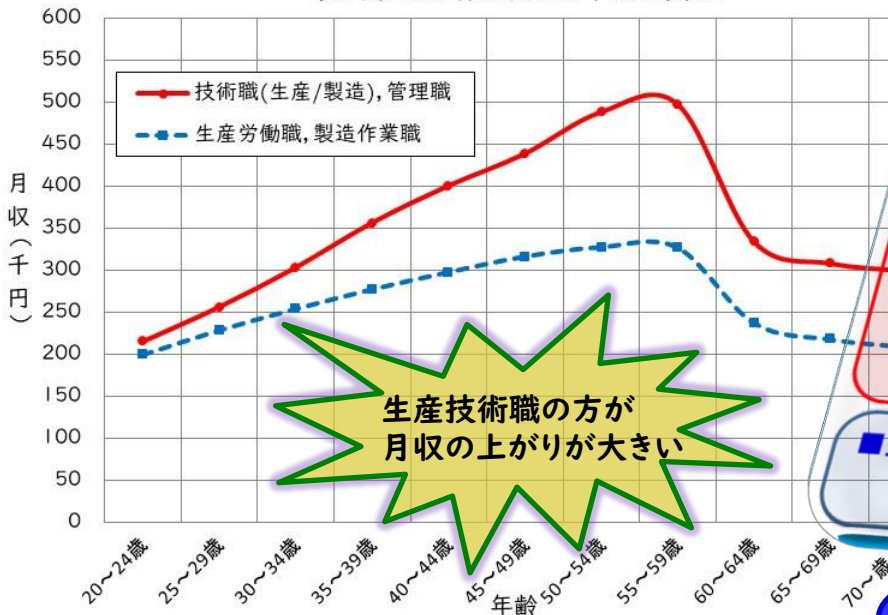
- ・「新しい分野にチャレンジしたい方」
- ・「技術系短大卒業として、技術職で就職したい方」
- ・「転職のために必要なスキルを身につけたい方」
- ・「短大の上部機関に進学を考えたい方」

ここが産技短おススメポイント①

技術職・エンジニア、現場監督者として採用されます

赤い部分が【技術職】
の業務内容です

製造業勤務者の職種と年齢別賃金



生産技術職の方が
年収の上がり大きい

製造業のものづくりの流れ

● 生産・製造技術職, 管理職

研究・開発

↓

設計

↓

試作

↓

試験

↓

改善

■ 生産労働職, 製造作業職

量産

【生産労働職, 製造作業職とは】
ライン作業、オペレーションのように、
生産ラインに配置される職で、
決まった作業が多い傾向にあります

※厚生労働省「令和元年賃金構造基本統計調査の概況」より



年収の上り幅を考慮すると、短大でスキルを習得して、生産技術職として入社する分、収入が上がっていくことも期待できます。

また、生産技術職は勉強して、考えて、実行するのが仕事となるので、自分のスキルの向上も実感できて、やりがいがあります。身につけた技術は一生ものなので、充実して長く勤めることができます。

ここが産技短おススメポイント②
技術習得の経費が抑えられます

主な2年制専門学校との経費比較 各校のホームページより引用

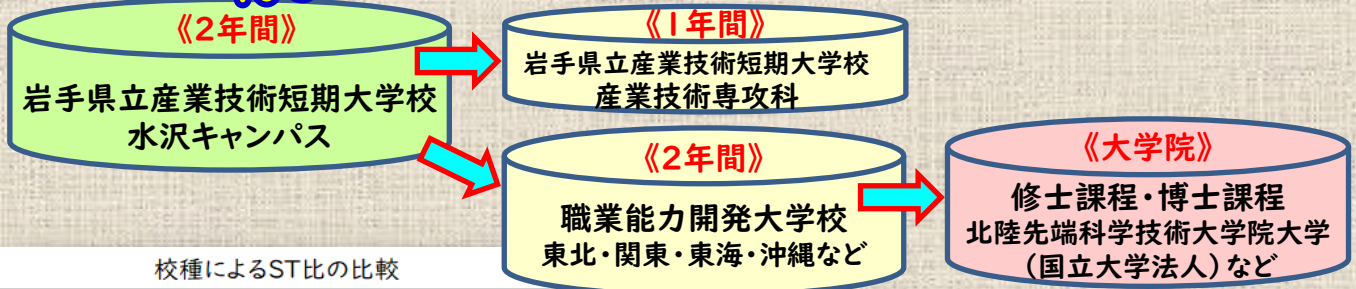
項目		専門学校A・盛岡市 (情報ITコース)	専門学校B・仙台市 (機械CAD設計科)	産業技術短期大学校 (生産技術科)
修業年限		2年	2年	2年
入学料	入学時	120,000	70,000	(県内) 135,400 (県外) 203,000
	1年次	660,000	636,000	390,000
授業料	2年次	660,000	636,000	390,000
	1年次	80,000	80,000	※ 66,370
教材費	2年次	80,000	62,000	※ 25,732
	1年次	120,000	180,000	0
維持費/ 施設設備費	2年次	120,000	180,000	0
	1年次	200,000	26,000	39,900
実習・演習費/ 諸経費	2年次	200,000	23,000	18,000
	初年度納入金額	1,180,000	992,000	631,670
2年次納入金額	1,060,000	901,000	433,732	
合計		2,240,000	1,893,000	(県内) 1,065,402

※科によって増減有り

- 学生寮(入寮の場合)
寄宿舎料: ¥51,600(年額)
維持費: ¥164,000(年額)
食費: ¥1,300程度(日額)
- 産業技術研修(任意参加)
※直近2年間はコロナ禍により中止
参加費: ¥259,500
(参考金額: ドイツミュンヘン)
- 資格試験受験料(受験者負担)

民間の専門学校と
比較して、経費は
約半分程度!
遠方の方には
寮もあり

ここが産技短おススメポイント③
ST比8.0 短大の上部機関への進学も可能



校種によるST比の比較

	分野	収容定員	専任教員	ST比
短大	工学	200	7	28.6
	美術	100	5	20.0
	保育	100	6	16.7
	看護	300	7	42.9
専門学校	工業	200	6	33.3
	医療	80	3	26.7
	文化・教養	80	3	26.7
産技短	基幹系	40	5	8.0
	デザイン	40	5	8.0
	建築系	40	5	8.0
(参考)大学	工学	400	14	28.6
	文学	600	10	60.0
	医学	360	130	2.8

※各校のデータは、文部科学省が定めるそれぞれの校種の設置基準による

ST比とは《Sは、Student、Tは、Teacher》
教員1人当たりの学生数のことです。
産技短では、専任の他に外部からの講師や、非専任
の教員も揃えています。
ST比が小さいので、《就職支援》や《資格取得》など
手厚い後押しができ、《教育効果》を実感していただ
けます。



生産技術科・電気技術科は基幹技術系の製造業に強く、建築設備科は現場監督者として活躍できます